

フードドライブにトライの巻

ごみまるです。

今回は前回の食品ロス削減に関連して、フードドライブについてお話しさせていただきます。

フードドライブは「食糧の寄付」という意味で、発祥は1960年代のアメリカだそうです。

簡単に説明すると、おうちで食べる予定のない食べ物を集めて、食べ物を必要とするひとへ届ける福祉活動なんです。

昨今では、食品ロス削減に結びつけられて、環境問題解決策のひとつとしての見方もされていますね。

活動はどんどん活発になっていて、あちこちの民間団体や企業でも取り組まれており、気軽に寄付ができる環境が整いつつあります。

ご近所のコンビニでフードドライブコーナーを見かけたよ、なんて方もいらっしゃるんじゃないですか？

フードドライブは基本的には長期保存できて、未開封の食品を集める活動です。ですので、いずれ食べるつもりだしなぁ、非常時の蓄えだしなぁと寄付に二の足を踏んでしまう方もいらっしゃるのではないのでしょうか？

おっしゃる通りです。フードドライブはあくまでも寄付ですので、無理して寄付する必要はないかもしれません。むしろ、無理して参加したことで、フードドライブに悪い印象をもってしまわれると大変です。

ちなみに1月15日は「い・い・ごはん」の語呂合わせから「フードドライブの日」だそうです。

日本の習慣である、お歳暮、お年賀がやり取りされ、おうちに食品が集まりやすいことから、年明けの「いいごはん」の日をフードドライブとしたそうです。

食品が集まるタイミングは人それぞれ。ご自身のご都合、タイミングで無理なくフードドライブにトライしてみてもいいのではないでしょうか。

【ごみまる放談について】

「ごみまる放談」は環境問題への興味、関心を持っていただくための導入部分として作成いたしました。

広い年齢層に気軽に読んでいただくことに主眼を置いたため、話し言葉や多少ふざけた表現が含まれております。

不明瞭、不適切などのお気づきの点がございましたら、資源循環課減量推進係（電話０４８－２２８－５３７０）までご指摘いただければ幸いです。